

トピックス **ぶらす**

5/29

**9月の開館に向けて建設工事が着工**

登米町出身の日本画家、高倉勝子<sup>かつこ</sup>さんから市に寄贈していただく美術館「高倉勝子美術館」の建設に関する地鎮祭が5月29日、登米町の美術館の建設予定地で開催されました。地鎮祭には市長をはじめ教育長などが招かれ、家族や関係者とともに工事の安全を祈願しました。今後は9月中旬の開館に向けた建設工事が開始されます。



▲工事の安全を祈願して地鎮の儀が行われました

5/30

**市消防団3支団が県代表に**

東北6県の消防団、水防団の代表が参加して技術を競う、第4回東北水防技術競技大会が5月30日、青森県五所川原市で開催され、市消防団の3支団(迫・中田・石越)が県代表として初出場しました。大会では土のうを積んで決壊を防ぐ「月の輪工法」や竹などで補強したシートを使う「シート張り工法」の2種目を実施し奨励賞を受賞しました。



▲すばやい手つきで「月の輪工法」を実施する支団員

6/1~7

**みんなで守ろう！大切な水**

わたしたちの生活に欠かせない水の大切さと、水道への関心を高めてもらおうと、6月1日から7日までの水道週間に併せ、市内で水に関する多くの行事が行われました。期間中は登米幼稚園・保育所の子どもたちによるヤマメの稚魚放流や、登米中学生による記念植樹、管工事業協同組合員による北上川河川敷の清掃作業などが行われました。



▲北上川にヤマメの稚魚を放流する子どもたち

6/11

**施工管理・安全対策を評価**

市優良工事ならびに水道事業優良工事施工業者表彰が6月11日、市役所迫庁舎で行われました。この表彰は、他の模範となる工事を施工した施行業者を表彰し、施工意欲や工事の質的向上を図る目的で創設されたものです。平成20年度工事を対象とする第1回の今回は、市表彰・水道事業表彰ともに(株)只野組が受賞しました。



▲完成度の高い工事が評価された株只野組が受賞

**安全・安心な地域を目指して**

石越で防犯指導隊発隊式

石越地区防犯指導隊の発隊式が5月26日、石越総合支所で行われ、石越地区防犯指導員となる10人が出席しました。式では、佐々木石越総合支所長が指導隊の辞令交付を行い、佐沼警察署志子田生活安全課長と市防犯指導隊須藤隊長が祝辞を述べました。その後、石越地区防犯指導隊の工藤隊長が、「登米市防犯指導隊の活動方針に沿って安全・安心な地域を目指して活動していきます」と活動宣言をしました。今後、防犯指導員は、安全・安心なまちづくりや防犯意識を高める活動などを行っていきます。



▲隊員を代表して、今後の活動目標について宣言をする工藤隊長

**右見て左見て！安全に渡ろう**

豊里幼稚園で5月28日、交通安全教室とミニ新幹線乗車体験が開催されました。交通安全教室では園庭に作られた特設線路で、踏み切りの渡り方などを学び、園児は交通指導隊員と一緒に「右を見て、左を見て、もう一度右を見て」と安全確認をして上手に渡っていました。その後、ミニ新幹線の乗車体験が行われ、最初は緊張した表情の園児もいましたが、ミニ新幹線に乗ると表情は一転し、トンネルで歓声を上げたり、先生に手を振ったりするなど、楽しい時間を過ごしました。



▲特設の線路で、正しい踏み切りの渡り方を学ぶ園児たち

中田でさなぶり祭り

**田植えの終了を祝う伝統行事**

中田農村環境改善センターで6月21日、平成21年度さなぶり祭り(中田文化協会主催)が開催されました。さなぶりとは、田植えの終了祝いの意味で、田植えが一段落したこの時期に歌や踊りを楽しんでもらおうと毎年実施されています。今年は、民謡16曲や舞踊19演目、太鼓などが披露されました。また民謡には外国語指導助手の先生5人も出演し、こきりこ節の演奏や黒田節を披露しました。会場には約250人の観客が訪れ、農作業の合間の楽しいひと時を過ごしていました。



▲外国語指導助手の先生も加わり披露された「大漁唄い込み唄」